

「ひろしま住まいづくりコンクール2022」の開催について

1 要旨・目的

住まいづくりの見本・好事例を広く紹介することにより、本県の住環境のさらなる向上と住宅産業の活性化を図るため、県及び「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」の共催によりコンクールを開催し、県内の様々な創意工夫のある住宅リフォームや新築等の実施例を募る。

2 現状・背景

ひろしま住まいづくりコンクールは、平成22年度から毎年度実施してきており、今年度で13回目となる。毎回、多数の作品が応募されている。

3 概要

(1) 実施主体

- ・ 土木建築局住宅課
- ・ ひろしま住まいづくり支援ネットワーク
(県、呉市、福山市、三次市、東広島市、廿日市市、及び(公社)広島県建築士会等の民間団体で構成)

(2) 実施期間(日時)

応募期間：令和4年8月1日(月)～8月31日(水)

(3) 場所

「ひろしま住まいづくりコンクール2022」事務局
(公社)広島県建築士会事務局 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F)

(4) 実施内容

平成31年4月1日から令和4年8月31日までに工事が完了した住宅について、リフォーム部門、新築部門、空き家再生部門の3部門で応募作品を受け付け、下表の観点で審査を行う。

3部門中で最も優秀な作品に県知事賞を授与するとともに、部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞1点程度、奨励賞1点程度を選定し、表彰する。

項目	観点
各部門共通	① 一般家庭で見本となる工事内容や価格で、いつまでも広島県に住みたいと思える魅力ある住まいづくりを実現している。 ② 設計や施工の過程で生じた困難や問題を、創意工夫や技術力によって解決している。
リフォーム部門	① 地域の気候風土に即した省エネ性能、耐震性の向上、バリアフリー化など、それぞれの住宅に合った改修技術を用いて品質の向上を図っている。 ② 住まいに対する居住者の思いへの配慮、世代や世帯構成の変化への対応、自分らしいライフスタイルの実現など、多様なニーズに対応している。
新築部門	① 高い省エネ性、耐震性、耐久性などを備え、長期にわたって活用することが可能な良質な住宅である。 ② 県産材や自然素材の利用、地域や街並みとの調和、健康で快適な居住環境の実現など、多様なニーズに対応している。
空き家再生部門	① 地域の気候風土に則した省エネ性能、耐震性の向上、バリアフリー化など、それぞれの住宅に合った改修技術を用いて品質の向上を図っている。 ② 新たな居住者が、地域の気候風土やロケーションを生かし、自分らしいライフスタイルを実現している。

4 今後の予定

令和4年12月 結果発表
令和5年3月 表彰式

【参考】「ひろしま住まいづくりコンクール2021」（令和3年度開催）主要受賞作品

《広島県知事賞（新築部門）》

（作品名）法成寺（ほうじょうじ）の家 （所在地）福山市



《リフォーム部門最優秀賞》

（作品名）Old & New 古くて新しい古民家のかたち （所在地）広島市



《新築部門最優秀賞》

（作品名）里山でおおらかに暮らす家 （所在地）広島市



《空き家再生部門最優秀賞》

（作品名）上条（sorajo）の家 海が見える山の家 （所在地）大崎上島町

